

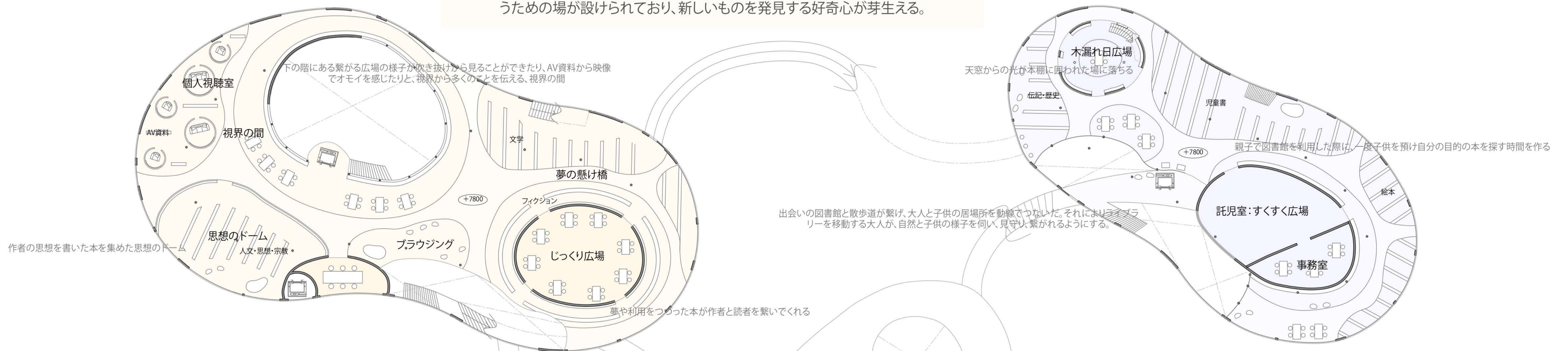
工作室を囲む居場所

ライブラリーと共有部に接した工作室であり、他機能同士が隣接している。そこで工作室に窓を設け繋がりを作り、その様子を覗けるようにする。それにより新しい興味や体験が生まれるきっかけとなる。

3つのオモイ

作者の願いや思想を綴った本、夢や物語を綴った本、そしてそれらを別の方法で表現したAV資料、この3つのカタチをおいているフロア。そしてそれぞれの場には異なる出会うための場が設けられており、新しいものを発見する好奇心が芽生える。

4階平面図 S=1/200



子ども同士の繋がり

子供たちが年齢を問わず交流できる場としておはなしの部屋と広場を設ける。そこで関りのない子供同士を、一つの本にふれあわせ、関係を築ききっかけを作る。また、自由に体を動かせる場とし、図書館特有の静けさを気にせずに、自由に活動が行える。

3階平面図 S=1/200